

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

## 資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | ケインズ伝 (4)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&amp;A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

### ケインズ伝 (4)

1940年、ケインズは「大蔵大臣諮問会議」の委員を引き受けます。このなかで新しい国際通貨体制の構築で重要な仕事を果たしました。

ケインズ案では、国際収支の赤字・黒字は新設される国際清算同盟 (ICU) において新たに造られる国際標準として機能する銀行貨幣 (バンコール) 建ての精算勘定にて決済されることになっていました。

この改革の革命的なところは、ICUが国際貿易で必要となる準備金を創造し、それによって流動性への新たなグローバルな競争の機会を根絶する点にありました。

「すべての国の間に、より健全な政治経済」を建設しようとするケインズの試みにとって決定的なことは、債権国も債務国とともに調整負担を共有すべしとする要請です。

債権国は自国通貨の切り上げと対外投資を封鎖しないことが認められ、ときにはそれらを要求されることになっていました。

しかも過剰な債権を保有すると高い利率が課されることになっていました。

ケインズ案は債務国に対し対照的な義務を付与しています。

厳格なコントロールにより、新しいシステムの本質的特徴として、債務国から債権国への望ましくない資本流入を阻止することになっていました。

ケインズ案で最も重要なものは、そのプロジェクトのスキームによって提供される「全員にとって無償の恩恵」であろう資金を利用できるという点です。

資金を利用するかぎり、余剰をいかに利用するかという選択に関して債権国の自由を侵害することもないのです。

外観に反して、ケインズ案は双方勝ち組になる状況を設定していました。

つまり、債務国は債権国の余剰を再循環させることによって可能となる当座貸越機能に頼ることができるし、債権国には劇的な緊縮プログラムの実施によって自らのポジションを矯正する必要に迫られたとすれば購入できなかったであろう債務国に対し、財を輸出する可能性が与えられるからです。

[\(5\) に続く](#)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>> 一覧へ戻る](#)

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.